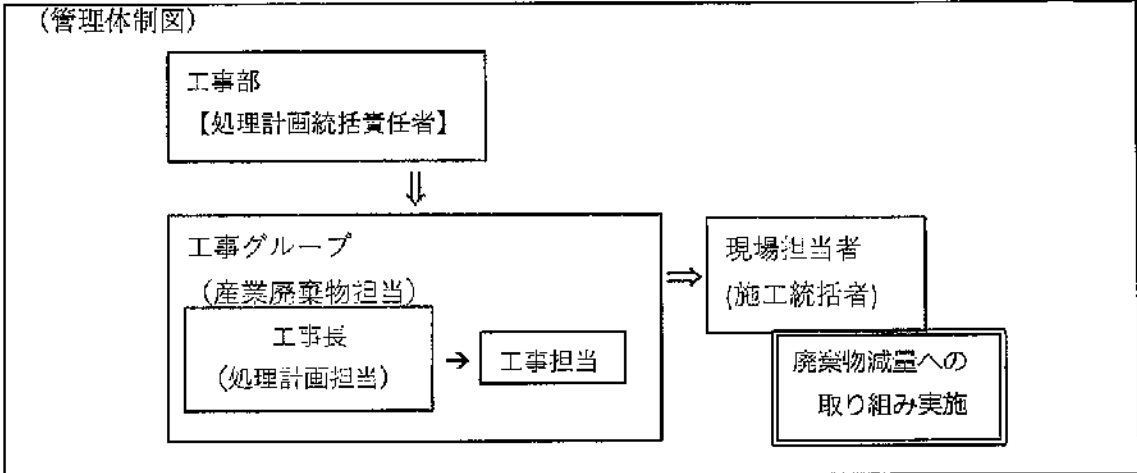


(第1面)

産業廃棄物処理計画（変更計画）書	
令和5年 6月27日	
(宛先) さいたま市長	
住 所 埼玉県さいたま市浦和区高砂2-2-3	
JREさいたま浦和ビル3階	
氏 名 住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部	
首都圏事業部 マンションリフォーム埼玉エリア	
統括 塚田豊太郎	
電話番号 03-3346-1416 (工事本部)	
さいたま市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例第12条の2第1項の規定により、令和5年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成・変更したので、提出します。	
事業所の名称	住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部 首都圏事業所マンションリフォーム埼玉エリア
事業所の所在地	埼玉県さいたま市浦和区高砂2-2-3 JREさいたま浦和ビル3階
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
変更の概要	
当該事業所において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	13.1億
③従業員数	40人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事の発生材はすべて契約処分業者に委託する。 ①石膏ボード→分別回収→中間処理→再資源化 ②コンクリートがら→破碎→再生砕石 ③木くず→破碎・圧縮→燃料チップ パーティクルボード原料として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	48.34 t	27.23 t
	(これまでに実施した取組) ①段ボールの個別回収 ②木材の分別によるチップ・パルプ再利用 ③廃石膏ボードの分別・リサイクル		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	47.00 t	26.00 t
	(今後実施する予定の取組) ①上記削減の再徹底 ②私物（弁当ゴミなど）持ち帰りの徹底 ③段ボール、石膏ボードの分別回収		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①解体工事に石膏ボード、仕上げ工事時にダンボールの分別回収実施 ②アスベスト混入材は透明専用ビニール袋に入れ分別回収実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①金属くず・電線などを個別に袋分けする ②石綿含有建材の分別回収の際は袋詰め写真を撮影する

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和4年度）実績】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
排出量	192.45 t	2.20 t	89.89 t	17.15 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
排出量	185.00 t	2.00 t	88.00 t	16.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和4年度）実績】				
産業廃棄物の種類	石膏ボード	レンガ破片など	コンクリート片	建設混合廃棄物
排 出 量	60.90 t	15.69 t	0.44 t	27.77 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	石膏ボード	レンガ破片など	コンクリート片	建設混合廃棄物
排 出 量	58.00 t	14.50 t	0.35 t	34.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和4年度）実績】				
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
排 出 量	24.16 t	0.05 t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
排 出 量	22.00 t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
【前年度（令和4年度）実績】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
【前年度（令和4年度）実績】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	レンガ破片など	コンクリート片	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	レンガ破片など	コンクリート片	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	レンガ破片など	コンクリート片	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	レンガ破片など	コンクリート片	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	48.34 t	27.23 t
	優良認定処理業者への処理委託量	48.34 t	27.23 t
	再生利用業者への処理委託量	48.34 t	27.23 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t
(これまでに実施した取組)			

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
全処理委託量	192.45 t	2.20 t	89.89 t	17.15 t
優良認定処理業者への処理委託量	192.45 t	2.20 t	89.89 t	17.15 t
再生利用業者への処理委託量	192.45 t	2.20 t	89.89 t	17.15 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	レンガ破片など	コンクリート片	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	レンガ破片など	コンクリート片	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	レンガ破片など	コンクリート片	建設混合廃棄物
全処理委託量	60.90 t	15.69 t	0.44 t	27.77 t
優良認定処理業者への処理委託量	60.90 t	15.69 t	0.44 t	27.77 t
再生利用業者への処理委託量	60.90 t	15.69 t	0.44 t	27.77 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】				
産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】				
産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
全処理委託量	24.16 t	0.05 t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	24.16 t	0.05 t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	0.05 t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	47.00 t	26.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	47.00 t	26.00 t
	再生利用業者への処理委託量	47.00 t	26.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
全処理委託量	185.00 t	2.00 t	88.00 t	16.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	185.00 t	2.00 t	88.00 t	16.00 t
再生利用業者への処理委託量	185.00 t	2.00 t	88.00 t	16.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	石膏ボード	レンガ破片など	コンクリート片	建設混合廃棄物
全処理委託量	58.00 t	14.50 t	0.35 t	34.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	58.00 t	14.50 t	0.35 t	34.00 t
再生利用業者への処理委託量	58.00 t	14.50 t	0.35 t	34.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
全処理委託量	22.00 t	- t	- t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	22.00 t	- t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書〔別紙〕

提出年度 令和5年度

産業廃棄物の種類	前年度実績 今年度の計画	Aの量		Bの量		Cの量		Dの量		Eの量		Fの量		Fの量のうち、特定 回収施設等での処理 業者への依頼 処理容量	Fの量のうち、特定 回収施設等での処理 業者以外の回収を行っている 処理業者への焼却処理容量
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画		
廃プラスチック類	現状 48,336	計画 47,000												48,336	
紙くず	現状 27,225	計画 26,000												27,225	
木くず	現状 192,446	計画 185,000												192,446	
緑植物*	現状 2,196	計画 2,000												2,196	
金属くず	現状 89,892	計画 88,000												89,892	
ガラス陶磁器等くず	現状 17,150	計画 16,000												17,150	
石膏ボード	現状 58,000	計画 58,000												58,000	
レンガ破片など	現状 15,688	計画 14,500												15,688	
コンクリート片	現状 0,444	計画 0,350												0,444	
建設混合廃棄物	現状 27,768	計画 34,000												27,768	
石綿含有産業廃棄物	現状 24,163	計画 22,000												24,163	
腐風光ラング類	現状 0,045	計画 0,000												0,045	
合計	現状 506,253	計画 482,850	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	506,253	482,850	0,000
	現状 482,850	計画 470,950	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	482,850	470,950	0,000

不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部 首都圏事業部 マンションリアホーム埼玉エリア
提出:工事部 高島 tel:東京03-3346-1416

